

科目名	インターネット応用演習	
担当者	大野 隆士 / OHNO, Takashi	
科目情報	教養科目 4 群 / 選択 / 後期 / 演習 / 2 単位 / 1 年次	
科目概要	授業内容	インターネットの特徴は、従来のメディアに比べて非常に低いコストで、個人が情報を発信できることである。本講義では、インターネットを使った情報収集だけではなく、情報の発信、それによる新しい形のコミュニケーションについて解説する。
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットについて簡単に説明できるようになる。 ・テキスト、静止画、動画、音声の加工ができるようになる。 ・ホームページが作成できるようになる。 ・Wiki、Blog、SNSを活用し、情報発信ができるようになる。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> (1) 講義についての紹介、コンピュータの基本操作のおさらい (2) インターネットとWWW。ホームページ作成1 (HTML基礎) (3) ホームページ作成2 (HTML応用) (4) Twitterによるコミュニケーション1 (5) Twitterによるコミュニケーション2 (6) Wikiの作成1 (利用/項目作成) (7) Wikiの作成2 (項目作成/公開) (8) Blogの作成1 (基本) (9) Blogの作成2 (活用) (10) Webサービスの活用 (SNS作成/活用) (11) Webサービスの活用 (スケジュール管理の活用) (12) ホームページ作成・応用1 (CSSとXHTML) (13) ホームページ作成・応用2 (各種データの加工) (14) ホームページ作成・応用3 (課題ページ作成と公開) (15) 総まとめ 	
自学自習	事前学習	<ul style="list-style-type: none"> ・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の課題を必ずやること。
使用教材・参考文献	<p>【教】教科書は使用しない。適宜ハンドアウトを利用する。</p> <p>【参】参考文献は適宜紹介する。</p>	
成績評価方法と基準	<p><基準> 「与えられた課題をただやるのではなく、その課題がより効果的にみえる解決の手段・方法を選択して利用できているか、それに付随する項目は無いか考え、その追加等ができていないか」を合否判断の基準とする。</p> <p><方法> 受講態度 (30%)、課題 (30%)、試験・レポート (40%) による。</p>	
備考	インターネット演習の単位を修得済みであることが履修登録の条件である。教員が指示する『読書』課題の遂行を、受講生の成績評価に加味、あるいは成績評価を受けるための前提とする。詳細は、初回の授業で説明する。	